

# 令和3年度 事業報告

## I. 概況

全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルスはこれまでの地域福祉活動に於いて「人と人とのふれあい」を自粛せざるを得ない状況を作りました。このような状況が長期化すれば、生活支援を必要としている地域住民にとっては不安が増すごとに心身の状態が低下し、住み慣れた地域で安心して暮らせなくなってしまうことが懸念されます。今後も新型コロナウイルスと共存していかなければならない状況にあります。当会でも、従来の考え方による取り組みに加えて、「新しいつながり」を構築するために、様々な英知を結集する必要があると考えます。

まだまだ感染が心配される中、地域福祉活動を再開するには、越えなくてはならない壁が多々あります。コロナ禍が終息し、親しい仲間と楽しく顔を合せられる日常が早く戻ることを祈念し、何らかの支援を必要としている地域住民のために新しい生活様式の下で地域福祉に携わる人たちが安心して活動を展開できるような取組みを構築していきます。住民主体の地域福祉を推進するにあたり、住民の生活課題を地域が認識して対応し、住民の意思が反映できる仕組みづくりをできるよう努めました。

最後に、これらの事業を着実に進めるにはその担い手となる人材が欠かせません。職員研修の充実を図るとともに、職員一人ひとりが本会の使命と地域の福祉ニーズを的確に把握し、関係機関・団体と今まで以上に連携をしながら、事業活動の強化と経営健全化に向け、本会一丸となって取り組んでまいりました。

その概要は、以下のとおりです。

### (1) 第2次地域福祉活動計画に基づく積極的な地域福祉の推進

社会福祉法に定められた「地域福祉の推進を図ることを目的とした団体」として、町民の信頼をより一層得られるように、住民参加を基本に住みよい地域づくりのための提言活動や多様な福祉のニーズに対応する先駆的な事業への取組みとして「おおよどアクションプラン」に基づき、「大淀町高齢者地域見守り協定事業」や「学習支援と居場所づくり」を展開しました。

要援護者及びひとり暮らし高齢者に対し町民生児童委員協議会の協力のもと、配食サービス等の生活支援サービス提供を行いました。また、在宅高齢者に対する生きがい活動や閉じこもり予防促進のためふれあい活動センター利用の周知に努め、利用者の拡大を図りました。

#### ① サロン運営事業

町内でふれあいサロンを実施しているグループへの支援及び助成を行いました。

年度	前年度	今年度
件数	16件	14件

#### ② 心配ごと相談事業

相談員(民生委員、行政相談員、人権擁護委員)が日常の困りごと等の相談受付を行いました。

#### ③ 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)

判断能力が十分でない高齢者等を対象に、金銭管理や福祉サービスの利用手続きの代行業務を行いました。

年度	前年度	今年度
利用者数	34人	31人
訪問件数	461件	430件

#### ④ 車いすカー貸出事業

1キロ当たり50円の利用料で、リフト付き車の貸出を行いました。

年度	前年度	今年度
延件数	0件	0件
金額	0円	0円

⑤ ふれあい活動センター事業

概ね65歳以上の方を対象に、介護予防・認知症予防を目的として事業を行いました。また町内の公衆浴場として、日曜日を除く午後3時から午後9時まで営業を行いました。

		前年度	今年度
生きがい活動	利用者数	1,838人	1,870人
一般入浴	利用者数	19,425人	18,663人

⑥ 配食サービス事業

70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、毎月1回、民生児童委員が利用者のお宅に弁当の配達を行いました。

	前年度	今年度
延件数	2,381件	2,756件
月平均	238件	230件

⑦ 広告掲載事業

年3回発行の社協だよりに掲載する広告の募集を行いました。

⑧ 福祉団体活動の活性化を図るための支援事業

福祉団体との連絡調整、事業の連携及び助成・支援業務を行いました。

⑨ 社会福祉法人協働事業

町内の社会福祉法人が、協働で地域における公益的な取り組みを推進するため、「大淀町元気な地域づくり推進協議会」を設立し、制度の狭間にある福祉ニーズに対応できる仕組みづくりの協議を進めました。

⑩ 大淀町高齢者地域見守り協定事業

高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、企業や事業所と協定を結び、協力を得ながら見守りネットワークの強化を図りました。

協力業者	5社
------	----

⑪ 学習支援と居場所づくり

地域や学校等と連携し、経済的困窮や社会的孤立などにより家庭の環境が整わず、様々な生きづらさを感じている生活困窮世帯の子ども並びに一般家庭の子どもを対象に、子どもの育ちを支える豊かな地域の基盤づくりを進めました。

(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

個別課題や地域課題を解決していくために、横断的な連携が図れる地域ケア会議を構想し、試行的に開催しました。需要に見合ったサービス資源の開発を行うとともに、保健・医療・福祉等の専門機関や住民組織・民間企業等によるネットワークの構築を進めています。

また、要介護高齢者及びひとり暮らし高齢者等が、自立した生活を送ることができるよう、保健師等による介護予防マネジメントを踏まえ、介護予防のためのいきいきふれあい教室を開催しました。

① 地域包括支援センター総合相談

		前年度	今年度
相談者数		343人	339人
内容	介護	269人	282人
	医療・健康・認知症	33人	34人
	虐待	4人	7人
	成年後見・権利擁護	3人	5人
	その他	34人	11人

② 介護予防事業

	前年度	今年度
出前講座	0人	0人

③ 介護保険予防プラン作成事業

	前年度	今年度
延件数	2,990件	2,881件
金額	13,101千円	12,961千円

### (3) 介護サービス事業の質の向上とセーフティネット機能

指定居宅サービス事業者として、自らが経営責任の意識をもって効率的な事業運営を行い、より質の高いサービスを提供するための改善を図り、利用者や家族の方より選ばれる業者になり得るよう努めました。

また、利用者個人の権利を擁護するとともに、福祉サービスを適切に利用できるように支援しました。苦情に対し、社会性や客観性の確保を図り、円滑・円満な解決の促進に努め、利用者との信頼関係づくりに努めていきます。

#### ① 訪問介護事業

要介護(要支援)認定者を対象にヘルパーが在宅で身体介護・生活援助等のサービス提供を行いました。

	年度	身体介護	生活援助	身体生活	通院等乗降	合計
延件数	今年度	2,646件	1,464件	3,425件	0件	7,535件
	前年度	2,536件	1,264件	2,966件	0件	6,766件
金額	今年度	29,290千円				
	前年度	26,422千円				
	年度	訪問型Ⅳ	訪問型Ⅴ	訪問型Ⅵ	合計	
延件数	今年度	943件	472件	160件	1,575件	
	前年度	898件	518件	96件	1,512件	
金額	今年度	8,708千円				
	前年度	9,379千円				

#### ② 訪問看護事業

要介護(要支援)認定者を対象に看護師が在宅でリハビリ・医療処置等のサービス提供を行いました。

	年度	訪問看護2	訪問看護3	訪問看護4	合計
延件数	今年度	330件	966件	78件	1,374件
	前年度	135件	1,114件	76件	1,325件
金額	今年度	12,217千円			
	前年度	13,269千円			
	年度	予防看護2	予防看護3	予防看護4	合計
延件数	今年度	167件	270件	26件	463件
	前年度	186件	389件	15件	590件
金額	今年度	3,557千円			
	前年度	4,575千円			

#### ③ 居宅介護支援事業

要介護(要支援)認定者を対象にケアマネジャーが、ケアプランを作成し、サービス調整や評価の実施を行いました。

	年度	合計
延件数	今年度	1,262件
	前年度	1,542件
金額	今年度	19,689千円
	前年度	23,916千円

④ 計画相談支援事業

障害福祉サービス等を申請した障がい者(児)を対象に相談支援専門員が、サービス等利用計画の作成し、サービス調整や評価の実施を行いました。

	年度	合計
延件数	今年度	60件
	前年度	62件
金額	今年度	915千円
	前年度	913千円

⑤ 支援費事業

障がい者(児)を対象(障害者総合支援法)に在宅で身体介護・通院送迎のサービス提供を行いました。

	年度	合計
延件数	今年度	1,168件
	前年度	1,213件
金額	今年度	4,649千円
	前年度	4,180千円

⑥ 医療保険事業

末期癌及び特定疾病の患者を対象に看護師が在宅で療養上のケア・医療処理の実施を行いました。

	年度	合計
延件数	今年度	603件
	前年度	724件
金額	今年度	6,573千円
	前年度	7,821千円

⑦ 訪問調査事業

ケアマネジャーが居宅訪問して、要介護認定のための調査業務を行いました。

	年度	合計
延件数	今年度	28件
	前年度	3件
金額	今年度	113千円
	前年度	11千円

⑧ 軽度生活援助事業

概ね65歳以上の単身世帯、高齢世帯を対象に、ヘルパーが家事援助等のサービスを提供を行っております。

	前年度	今年度
延件数	0件	0件
金額	0千円	0千円

(4) ボランティアの育成と活動の促進

生活の質や心の豊かさを求めるようになったことなどを背景として、ボランティア活動への関心が高まり、活動への支援の必要性が社会的な課題として取り上げられているなか、ボランティアセンターの設置及び運営を新たな事業として展開してまいりました。ボランティア活動に関心がある又は行っている方への情報提供や支援を通して、住民の方に広く気軽にボランティア活動へ参加してもらい機会をつくり、地域づくりの担い手として、みんなで協力していく取り組みを構築しました。

また町ボランティア連絡協議会と連携して災害時におけるボランティア活動における研修会を開催し、ボランティア活動に対する意識の高揚を促しました。

#### (5) 福祉・介護に携わる人材の養成と資質の向上

社会福祉士及び介護福祉士の実習生を受け入れ、社会福祉に従事する人材の確保・育成と資質向上を進めることにより、地域での福祉活動や福祉サービスの活性化を推進しました。

	前年度		今年度	
ケアマネジャー	実務研修	1人	実務研修	1人

#### (6) 福祉サービスの苦情解決事業及び第三者委員の設置

福祉サービス等についての苦情に対し、苦情解決責任者及び各部署に苦情受付窓口を設けるとともに、第三者委員を設置し利用者の権利を擁護し、事業の迅速な改善を図り本会に対する社会的な信頼を向上に努めました。

苦情申し立て件数	0件
----------	----

## II. 会の運営と参加

**(1) 監査**

令和3年5月18日

令和2年度事業報告並びに令和2年度決算監査

**(2) 理事会**

令和3年5月27日

大淀町社会福祉協議会評議員の選任に関する規定の一部変更について  
次期評議員候補者の選任について

大淀町社会福祉協議会評議員選任解任委員会の招集について  
令和2年度大淀町社会福祉協議会事業報告(職務執行状況)について  
令和2年度大淀町社会福祉協議会会計収支決算について  
令和2年度大淀町社会福祉協議会社会福祉充実計画について  
令和2年度大淀町社会福祉協議会会計収支決算監査報告について  
令和3年第1回大淀町社会福祉協議会定時評議員会の招集について

令和3年6月21日

大淀町社会福祉協議会評議員の選任報告について  
大淀町社会福祉協議会理事及び監事の選任報告について  
大淀町社会福祉協議会会長の選出について  
大淀町社会福祉協議会副会長及び常務理事の選出について  
大淀町社会福祉協議会評議員選任解任委員の選出について

令和3年12月17日

専決処分の承認を求めることについて  
(大淀町社会福祉協議会賃金規程の一部変更について)  
(大淀町社会福祉協議会パートタイマー就業規則の一部変更について)  
大淀町社会福祉協議会職務執行状況の報告について  
令和3年度大淀町社会福祉協議会会計補正予算(第1号)(案)について  
大淀町社会福祉協議会新型コロナウイルス感染症に関する規程(案)の制定について  
大淀町社会福祉協議会就業規則の一部変更について  
令和3年第2回大淀町社会福祉協議会評議員会の招集について

令和4年3月23日

大淀町社会福祉協議会経理規程の一部改正について  
令和3年度大淀町社会福祉協議会会計補正予算(第2号)(案)について  
令和4年度大淀町社会福祉協議会事業計画(案)について  
令和4年度大淀町社会福祉協議会会計当初予算(案)について  
令和4年度大淀町社会福祉協議会評議員会の招集について

**(3) 評議員会・定時評議員会**

令和3年6月21日

大淀町社会福祉協議会理事及び監事の選任について  
令和2年度大淀町社会福祉協議会事業報告について  
令和2年度大淀町社会福祉協議会会計収支決算について  
令和2年度大淀町社会福祉協議会社会福祉充実計画について  
令和2年度大淀町社会福祉協議会会計収支決算監査報告について

令和3年12月24日

令和3年度大淀町社会福祉協議会会計補正予算(第1号)(案)について

令和4年3月30日

令和3年度大淀町社会福祉協議会会計補正予算(第2号)(案)について  
令和4年度大淀町社会福祉協議会事業計画(案)について  
令和4年度大淀町社会福祉協議会会計当初予算(案)について